



プロ野球ペナントレース 応援順位表&月間MVP

2016年6月度

集計：非公認団体 日本プロ野球応援協会

当協会が公式ツールとして認定・採用している一球速報のスマホアプリ「メガホン! (※)」にて、試合観戦時にチームや選手を応援するためのコメント投稿ボタンが1回タップされた（押された）回数を「応援ポイント」として換算・集計。そのポイントに基づいたペナントレース各試合の応援合戦の勝敗順位と、プロ野球の各チームと選手がどれだけ応援されたかを測る応援ポイントの順位表です。

セ・リーグ 応援合戦順位表

集計期間：2016.3.25～6.30

チーム	試合数	勝	負	分	差
1 横浜DeNAベイスターズ	73	55	17	1	
2 広島東洋カープ	74	51	22	1	4.5
3 読売ジャイアンツ	71	46	24	1	8
4 阪神タイガース	74	22	50	2	33
5 東京ヤクルトスワローズ	75	19	54	2	36.5
6 中日ドラゴンズ	73	18	53	2	36.5

パ・リーグ チーム応援順位表

集計期間：2016.3.25～6.30

チーム	試合数	勝	負	分	差
1 福岡ソフトバンクホークス	69	54	14	1	
2 千葉ロッテマリーンズ	73	44	28	1	12
3 北海道日本ハムファイターズ	70	38	31	1	16.5
4 オリックス・バファローズ	67	33	33	1	20
5 東北楽天ゴールデンイーグルス	69	20	20	3	33
6 埼玉西武ライオンズ	72	21	21	2	34

セ・リーグ選手 6月度応援ポイント順位表

集計期間：2016.6.1～6.30

	選手名	球団	応援ポイント
MVP	坂本勇人	巨人	43,483
2	筒香嘉智	DeNA	15,834
3	石田健大	DeNA	15,348
4	エリアン	DeNA	14,044
5	倉本寿彦	DeNA	13,300
6	今永昇太	DeNA	13,194
7	鈴木誠也	広島	13,041
8	丸 佳浩	広島	12,110
9	大竹 寛	巨人	11,994
10	長野久義	巨人	9,815

パ・リーグ選手 6月度応援ポイント順位表

集計期間：2016.6.1～6.30

	選手名	球団	応援ポイント
MVP	オコエ瑠偉	楽天	24,847
2	柳田悠岐	ソフトバンク	13,495
3	内川聖一	ソフトバンク	11,900
4	東浜 巨	ソフトバンク	11,485
5	今宮健太	ソフトバンク	11,361
6	糸井嘉男	オリックス	11,360
7	鶴岡慎也	ソフトバンク	11,277
8	角中勝也	ロッテ	10,846
9	武田翔太	ソフトバンク	10,007
10	松田宣浩	ソフトバンク	9,982

※「メガホン!」とは、試合観戦中にユーザー同士がコメントを投稿することでチームや選手を応援できる、応援バトル型の一球速報アプリです。http://mega-hon.com/



プロ野球ペナント応援合戦順位表&月間MVP

今月の解説 (2016年6月度)

文：非公認団体 日本プロ野球応援協会

<セ・リーグ> 巨人・坂本が首位浮上！広島・野村は何処へ…

個人ランキングの変動ぶりは予想するのが非常に難しい。セリーグは衝撃的な結果が出た。先月2位の巨人・坂本がついに首位に浮上。実際のペナントレースでは広島に差をつけられているが、覚醒したかのような坂本の好調ぶりが巨人ファンの応援を一身に集めていると見て間違いない。一方、2位・1位とここ2ヶ月、上位に君臨していた広島・野村がまさかの急降下。月間で無傷の4勝を挙げた男が、今月はリーグ26位。なぜエリアンより低いのか。たしかにエリアンはネット界で「菊地亜美に似ている」と話題になり、本人も「ベ이스ターズのお兄ちゃん」とツイッターでつぶやくなど、妙な人気も出ているが、打率は2割台前半と活躍度はそこそこ。広島躍進を支える野村への応援が激減したことが不憫でしかたない。“神ってる”鈴木誠也が上位に浮上するなど、広島は打撃陣も絶好調なので応援が分散されたのかもしれない…などと野村へのフォローをしておこう。また、DeNA勢は5人がベストテン入り。応援が集中すれば坂本の首位の座を奪うのも遠くないはずだ。

<パ・リーグ> 首位はオコエ！大谷は1か月で圏外に…

先月はロッテ勢が席卷していたが、1か月でソフトバンク一色に。だが、注目は月間ランキング首位に急浮上したオコエ瑠偉だろう。スタメンを勝ち取った楽天のゴールデンルーキーが人気の高さを見せつける結果となった。他のベストテンの選手と比べ活躍度はまだまだだが、応援するというファンの行動には大なり小なり、今後への期待も込められている。今季を代表する「応援先行型（人気先行型が数値化されたもの）」の選手として、これから結果がついてくるか注目したい。また、先月1位の大谷翔平はリーグ16位にランクダウン。今月は4勝0敗、驚異の月間防御率0.29をたたき出した球界の至宝が、応援ポイントでは伸び悩んだ。

6月度の応援ベストナイン

投手部門トップ3はDeNAの石田と今永、巨人の大竹。捕手はソフトバンクの鶴岡が巨人・小林からその座を奪った。月間打率4割のロッテ・田村は捕手4位、7月に浮上できるか注目される。内野手のTOP4は巨人・坂本、DeNAのエリアンと倉本、ソフトバンクの今宮。そして外野手は楽天・オコエ、DeNA・筒香、ソフトバンクの柳田。この外野の布陣は近い未来の侍ジャパンでも見てみたい、そんなワクワク感のある顔ぶれとなった。